

ごあいさつ



山口県高等学校体育連盟

会長 古川 幸隆

第76回山口県高等学校総合体育大会が、5月31日から6月2日までの3日間を中心に、下関西高等学校3年 渡辺 真奈さんの作品「踏みしめる 維新の地から 大空に」のスローガンの下、盛大に開催できますことを大変うれしく思います。

この大会は、31競技に県下73校、約7,700人の高校生が覇権をかけて競う、山口県最大の高校スポーツの祭典です。大会の勝者の多くが高校生アスリートの夢舞台でもあるインターハイへの出場権を得るものであり、この大会を目標に各選手・チームは、これまで練習を重ね、競技力を高めてきたと思います。選手の皆さんが、これまでの練習の成果を十分に発揮されることを願うとともに、一人ひとりが高校生らしい、はつらつとしたプレーを展開し、精一杯の青春を感じてもらいたいと思います。

さて、昨年度は「ありがとうを強さに変えて 北部九州総体 2024」が福岡県を中心に開催されました。山口県からも30競技、491名の選手が参加し、女子バドミントンの団体4連覇、男子弓道の団体優勝、女子ヨットのコンバインドの優勝等、15競技29種目で入賞を果たしました。このような素晴らしい成績が残せたのは各専門部の指導者や関係者の方々のそれまでの指導の賜物であり、改めて関係各位の皆様にお礼を申し上げます。

これから県内各会場で、インターハイ出場をかけて熱戦が繰り広げられます。今年度のインターハイは中国ブロック、広島県を中心に山口県内でも6競技種目が開催されます。その予選を兼ねた今大会は、例年以上の盛り上がりが見込まれます。大会では暑熱対策の徹底を図るなど、より一層安心・安全な大会運営に努めていきたいと考えておりますので、御理解と御協力のほど、よろしくお願いいたします。

結びになりますが、本年度も共催していただいた山口新聞社様をはじめ、大会の開催に御尽力いただいたすべての関係者の皆様に対し、心から感謝申し上げます、あいさつといたします。